

茨城県景気ウォッチャー調査結果（令和2年12月調査）

1 調査結果

～ 景気の先行き判断は全地域で前回調査から低下 ～

☆ここがポイント

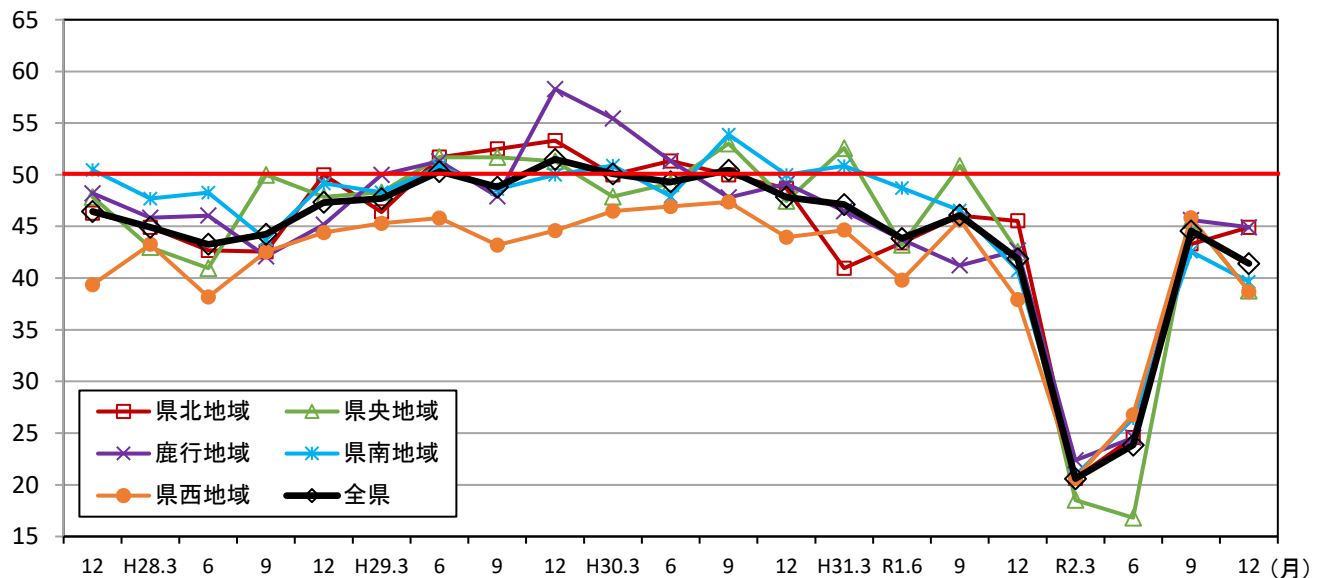
区分	景気現状判断DI		景気先行き判断DI		※DI(Diffusion Index) 景気動向を判断するために使用される指標の1つ。景気の方向性（景気が上向きか下向きか）を見るもの。 本調査では、回答を5つの区分ごとに点数で表し、その点数を回答構成比(%)で乗じてDIを算出している。
	12月調査結果	前回調査との差	12月調査結果	前回調査との差	
県全体	41.4	-3.2	38.0	-4.7	<参考> DI値50超 : 上向き DI値50 : 横ばい DI値50未満 : 下向き
県北	44.9	+1.6	36.1	-4.1	
県央	38.8	-6.8	39.7	-6.4	
鹿行	44.9	-0.7	37.7	-8.4	
県南	39.7	-2.8	38.4	-1.1	
県西	38.7	-7.1	38.2	-3.5	

○県全体の景気現状判断DI、景気先行き判断DIとも前回調査から低下し、9期連続で50を下回った。

景気先行き判断DIは、全地域で低下しており、分野別では、特に家計動向関連で低下が見られた。

○ウォッチャーからは、新型コロナウイルス、GoToキャンペーン、外出自粛等に関するコメントが多く寄せられた。

(DI) 景気現状判断DIの推移（地域別）



〔調査の概要〕

- ・ 調査客体数 … 県内5地域（県北、県央、鹿行、県南、県西）ごとに60名、計300名。
- ・ 調査内容 … 3か月前と比較した現状及び3か月後の先行きの景気判断（「良い」「やや良い」「変わらない」「やや悪い」「悪い」の5択）とその判断理由（コメント）の回答を集計。
- ・ 調査時期 … 四半期（6、9、12、3月）毎に実施し、翌月公表。（今回調査期間：令和2年12月4日から20日まで）
- ・ 回答率 … 94.0%（300名中282名から回答）

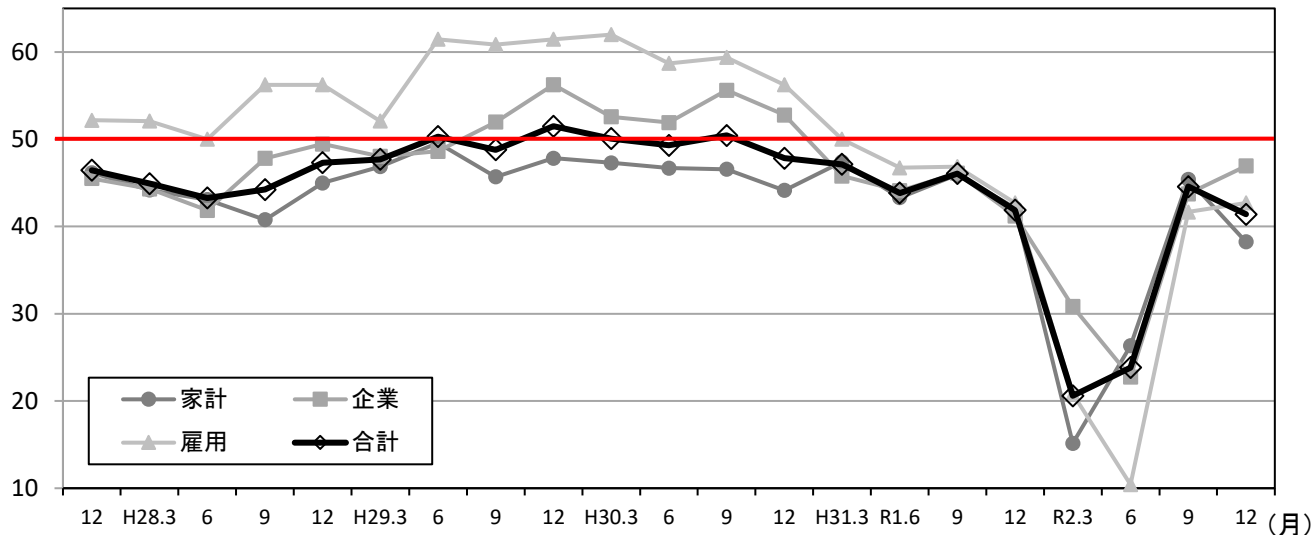
（地域区分）
 県北地域：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町
 県央地域：水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
 鹿行地域：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
 県南地域：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
 県西地域：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

2 県全体の動向

(1) 現状判断DI

(DI)

景気の現状判断DIの推移



分野	調査年月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月
合計		41.9	20.6	23.8	44.6	41.4
家計動向関連		42.1	15.1	26.3	45.4	38.2
小売関連		36.5	20.5	35.2	42.1	42.9
飲食関連		39.3	16.7	17.5	47.4	31.0
サービス関連		47.3	9.0	19.7	49.0	36.8
住宅関連		46.9	25.0	39.3	35.7	31.3
企業動向関連		41.2	30.8	22.8	43.8	46.9
農林水産業		40.6	42.9	21.4	33.3	37.5
製造業		38.5	29.1	24.0	47.4	48.5
非製造業		45.0	30.9	21.3	40.4	46.4
雇用関連		42.7	20.8	10.4	41.7	42.7

景気の現状判断DIは、前回調査より3.2ポイント低下して41.4となり、横ばいを表す50を9期連続で下回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より7.2ポイント低下し、22期連続で50を下回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より3.1ポイント上昇したものの、8期連続で50を下回りました。

雇用関連DIは、前回調査より1.0ポイント上昇したものの、7期連続で50を下回りました。

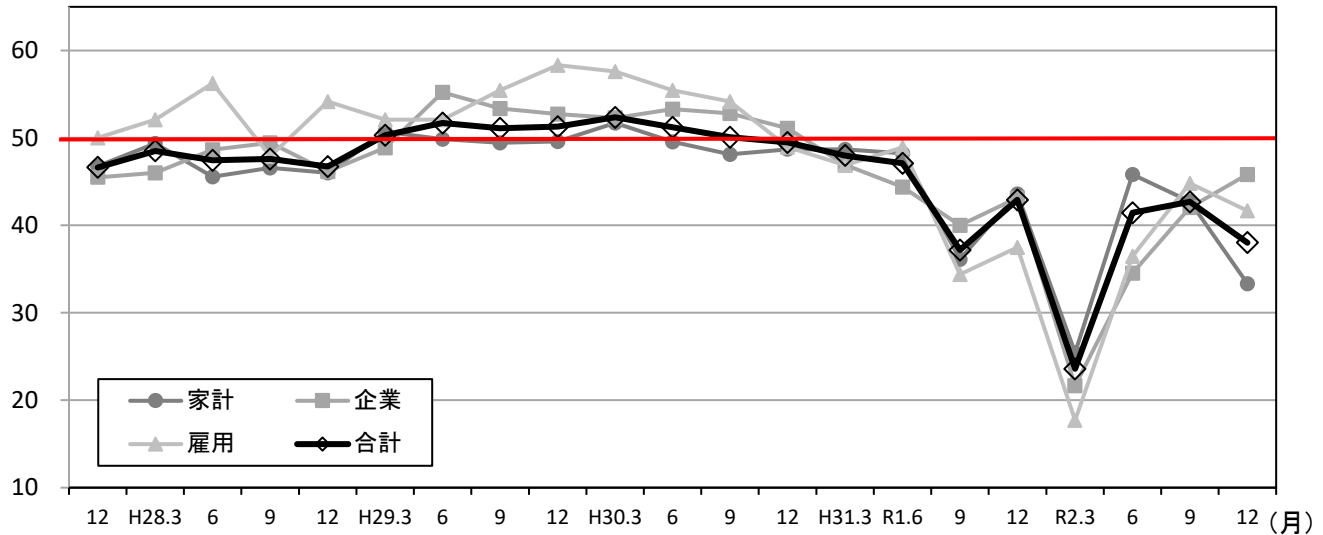
《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（県北：スーパー）職種上、客の需要は高まっているが、購入の仕方が割引の大きい手段に偏っており、その傾向は週や月を追うごとに強まっている。客からのクレーム、御意見も細かくなってきている。景気の良い買い方には思えない。
- ・（県央：レストラン）新型コロナウイルスの感染が増加しているため、自粛ムードが強くなってきた。忘年会、新年会もキャンセルが出てきている。また、忘年会や新年会を行わない企業もある。
- ・（鹿行：農業関係者）新型コロナウイルスの影響で、野菜の消費が落ち込んでおり、単価安の状態が続いている。
- ・（県南：製造業（食料品））取引飲食業者やネット注文からの客が回復傾向にある。しかし、大口のイベントがなくなっているため、全体的にみると悪くなっている。
- ・（県西：人材派遣業）一時的な年末繁忙による求人が増えたが、その他多くの企業がまだ長期的なポジションでの採用を控えている。

(2) 先行き判断DI

(DI)

景気の先行き判断DIの推移



分野	調査年月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月
合計		42.9	23.6	41.5	42.7	38.0
家計動向関連		43.6	25.4	45.8	42.8	33.3
小売関連		42.3	20.8	43.6	41.8	35.4
飲食関連		45.2	40.5	57.5	44.7	28.6
サービス関連		43.6	26.3	45.7	44.5	31.9
住宅関連		50.0	15.6	35.7	28.6	40.6
企業動向関連		43.1	21.7	34.6	42.0	45.8
農林水産業		37.5	35.7	35.7	37.5	50.0
製造業		42.7	20.9	38.5	43.8	47.4
非製造業		45.0	19.9	28.7	40.4	42.9
雇用関連		37.5	17.7	36.5	44.8	41.7

景気の先行き判断DIは、前回調査より4.7ポイント低下して38.0となり、横ばいを表す50を9期連続で下回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より9.5ポイント低下し、11期連続で50を下回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より3.8ポイント上昇したものの、8期連続で50を下回りました。

雇用関連DIは、前回調査より3.1ポイント低下し、9期連続で50を下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (県央：バス運転手) 感染者数の増加、GoToトラベルキャンペーンの一時停止、年末年始の諸行事の中止等、良い材料が見当たらない。
- ・ (鹿行：洋食食堂) 新型コロナウイルスの影響で先の見えない毎日が続いている。さらに新型コロナウイルスの感染が拡大するのではないかと不安が消えない。
- ・ (県北：林業関係者) 年末年始に向けて飲食の場の制限はあるものの、林業業界において素材、製品等は引き続き需要が伸びてくると感じる。今後増々活発化していくと感じる。
- ・ (県南：不動産業) 新型コロナウイルスの影響で飲食業等には大きくテナント賃料の引下げにも応じざるを得ないのが現状。これが当面続くとなると閉店する店舗も一気に増加するのではないかと感じる。
- ・ (県西：学校就業関係者) 求人企業数が昨年の同時期より約30%減少した。就職活動が厳しい状況にあると思われる。

3 地域別の動向（※調査結果はP.1参照）

（1）県北地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは44.9となりました。前回調査より1.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を9期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（製造業（電気機械器具））現在も作業量があり、春までは景気が良い。
- ・（求人開拓員）全国的には新型コロナウイルス等の影響で就職相談が増えているようだが、県北地域においてはその傾向はみられない。3か月前と比較しても、特段の変化はない。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは36.1となりました。前回調査より4.1ポイント低下して、横ばいを表す50を8期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（タクシー運転手）新型コロナウイルスの第3波の拡大が最も懸念される。飲み会等も殆ど行われない状況の会社もあり、車の台数を減らし対処しているが、受注が減る一方である。この先もっと仕事量が減るのではないかと予想される。
- ・（求人広告）新型コロナウイルスの問題が解決しない限り回復は難しい。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（スーパー）最近、若い人も含めて夫婦一緒の方が多く見られる。二人で相談しながらの買物が多く見られる。良い商品も買うが、安い方でいいと話す声も聞こえる。
- ・（製造業（電気機械器具））会社で忘年会や新年会を禁止とする指示があった。飲食店関係の経営は大変厳しい状況だと思う。

（2）県央地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは38.8となりました。前回調査より6.8ポイント低下して、横ばいを表す50を5期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（タクシー会社）緊急事態宣言が解除されて、一時的に水戸駅の利用者が増えてきたところで、急激な感染拡大に伴って、駅の客や夜間利用者、病院への通院者も一気に減少した。
- ・（建設業）毎年この時期になると、カレンダー配りにより客と接する機会が多く、その時にリフォーム修繕等の話が出るが、今期は客と接する時間がなく、受注への結びつきがあまりなかった。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは39.7となりました。前回調査より6.4ポイント低下して、横ばいを表す50を7期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（運輸業（道路貨物運送業））新型コロナウイルスの感染が拡大しており、貨物の量が安定していない。
- ・（学校就業関係者）第3波以降、また自粛ムードが強くなってきた。キャリア相談やガイダンス、求人の閲覧などの電子化により一定の支援はできているが、対面での支援を求める声もある。また、今後就職活動やインターンシップの移動に制限がかかると活動自体が停滞する恐れもある。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（スーパー）食品関係の店舗は巣ごもり需要の影響もあり好調に推移しているが、飲食やファッション、雑貨、サービス系の業種は、3月以降変わらず非常に厳しい状況である。国や県による継続的な支援を強く希望する。
- ・（求人広告）お金の心配をする人が増えたと感じる。

(3) 鹿行地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは44.9となりました。前回調査より0.7ポイント低下して、横ばいを表す50を10期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (衣料品販売店) 売上げ、客数が減少している。また、ここに来て新型コロナウイルスの感染が広がっているのも一因である。
- ・ (求人開拓員) 新型コロナウイルス感染症により外回りの求人開拓はもちろん行えず、様々な統計に表れないような(労働保険等にも加入していない)事業所等の倒産・閉店が増加してきている。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは37.7となりました。前回調査より8.4ポイント低下して、横ばいを表す50を9期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (タクシー運転手) 新型コロナウイルスの感染拡大にあたり、活動の時短や自粛等により、悪くなっていると思う。
- ・ (金融業) 回復基調が続くと思うが、インフルエンザや新型コロナウイルス感染拡大に懸念を抱く事業者や消費者が大半で、設備投資や個人消費には未だ慎重な意見が多く、大きな景気回復は期待できない。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (観光型ホテル) 多少予約が入ってもキャンセルになるなどがあり、利用者も不安が多いようである。
- ・ (製造業(電気機械器具)) 一見、ある程度復調したようにも見えるが、その差は業種によって激しく、飲食業や観光業を中心に非常に厳しい状況に思える。

(4) 県南地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは39.7となりました。前回調査より2.8ポイント低下して、横ばいを表す50を7期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (ゴルフ場) 例年であれば、忘年ゴルフ、忘年コンペ後パーティ等で混む時期だが、プレーヤーの人数は増えているものの、表彰式等もなく、ただプレーして帰る状況が続いている。景気が良くなっているとは思えない。
- ・ (民間職業紹介業) 取引先の業績が回復せず、採用計画も見直しが多い。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは38.4となりました。前回調査より1.1ポイント低下して、横ばいを表す50を6期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (建設業) 3か月後は年度末で忙しいのは当然だが、今月は多くの見積り依頼が来ているので3か月後の景気はやや良くなっていると思う。
- ・ (求人広告) 客数の減少に伴う売上額低迷の傾向は、3か月先も続くと考えられる。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (衣料品販売店) 自粛が長引くと、そのストレス発散のために来店客数が増える傾向がある。しかし、あまり消費はしない。
- ・ (製造業(印刷・関連業)) 新型コロナウイルスの感染がより身近に迫ってきている感じがする。消費や設備等に向けた投資意欲が減衰している感じがする。

(5) 県西地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは38.7となりました。前回調査より7.1ポイント低下して、横ばいを表す50を27期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (旅行代理店) 新型コロナウイルスの影響はかなり酷くなっており、3か月前の9月と変わりなく思えるが、預貯金も底をつき、大変さは増している。ツアーを計画してPRしても参加者数名では出発できない。非常事態であると思う。
- ・ (求人開拓員) 求人票の数が低調なままで推移していると感じる。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは38.2となりました。前回調査より3.5ポイント低下して、横ばいを表す50を8期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (理・美容店) やはり新型コロナウイルス第3波の影響は大きくあると思う。対策は講じているが、今月の営業は不安を感じる。同じ地域に感染者も出てきているため、客が行動を自粛すると思うので数か月は影響があると思われる。
- ・ (製造業(窯業・土石製品)) 新型コロナウイルスの影響を受ける前の水準に戻るの難しい。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (不動産業) 売買物件で低価格の物件を掲載したところ問合せが殺到し、すぐに契約に至った。高額物件は問合せ等は少ない。
- ・ (求人広告) 野菜や米、魚の値段が下がっている。ニュースを見ると、一次生産者が苦戦していると聞くが、身の回りにもその影響が出てきた。

4 多く寄せられたキーワード

以下では、ウォッチャーから寄せられた回答の中で多く見られたキーワードや、前回から増加したキーワードを含むコメントを掲載しています。

- ・ 「新型コロナウイルス」に関するコメント 325件 (県北: 63 県央: 66 鹿行: 68 県南: 65 県西: 63)

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (自動車販売店) 新型コロナウイルスが少し落ち着いてきて購買意欲が上がってきたかと思っていたところで、感染者が増え、一気に消費活動が鈍化した。
- ・ (求人開拓員) 新型コロナウイルスの第3波で感染者数が増加している状況(12月中旬)の中、求職者の動きが鈍くなっているように感じる。

- ・ 「GoToキャンペーン」に関するコメント 40件 (県北: 10 県央: 11 鹿行: 8 県南: 9 県西: 2)

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (都市型ホテル) GoToキャンペーンがあつて少し客数は戻ってきたが、一旦キャンセルになったのでまた少し悪くなっている。また、1月は元々閑散期でもある。
- ・ (スーパー) GoToキャンペーン停止で消費を行政が抑えてしまったことは大きい。夜間の客数が減少する。

- ・ 「外出自粛」に関するコメント 33件 (県北: 5 県央: 8 鹿行: 5 県南: 8 県西: 7)

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (タクシー運転手) 新型コロナウイルスの影響が長引き、外出自粛要請や、店舗の時短、休業している飲食店が今後も続いていくと思われる。また、企業においても接待等の機会が少なくなっている。全体的に人の動きがなく、閑散とした状態が続くのではないかと感じる。
- ・ (運輸業(道路貨物運送業)) 外出の自粛が続く中、巣ごもり需要が引き続き増えると思われる。